



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA
“感謝を込めて”

海と緑豊かな街、尾道的美風景に包まれて、
オーケストラの美しい音色が響き渡る。

広響しまなみ コンサート

Kentaro Kawase

第1部 ヴィオラ傑作選 ヴィオラ: 安保恵麻 (広響首席奏者) ピアノ: 伊藤憲孝

J.S.バッハ(コダーイ編): 半音階的幻想曲(無伴奏ヴィオラ)
半音階的幻想曲とフーガニ短調BWV903による

シューベルト: アルペジオーネ・ソナタ イ短調 D.821

第2部 秋涼のモーツァルト 指揮: 川瀬賢太郎 管弦楽: 広島交響楽団

モーツァルト: 交響曲第36番ハ長調K.425「リンツ」

Ema Ambo

Noritaka Ito

2016

10.15 (土) 14:30開演
(14:00開場)

尾道市瀬戸田市民会館
ベル・カントホール

〒722-2421 尾道市瀬戸田町瀬戸田535-1

◎チケット料金 ※就学前のお子さまの同伴はご遠慮ください。

〈指定席〉 〈自由席〉 〈学生券〉※自由席のみ
3,000円/当日3,500円 2,500円/当日3,000円 1,500円/当日2,000円

◎チケット取扱い [2016年9月3日(土)発売]

瀬戸田市民会館ベル・カントホール(0845-27-1878)、しまなみ交流館(0848-25-4073)
マハラ楽器(0848-23-7100)、広響事務局(082-532-3080)、ローソンチケット(Lコード: 62451)
チケットぴあ(Pコード: 306-378)

お問い合わせ/広響事務局 Tel.082-532-3080 [受付時間 平日 9:00~17:20]

主催: 尾道市、尾道市教育委員会、公益社団法人広島交響楽協会 特別協賛:

広島銀行

協賛: 中国電力、株式会社アクセ、有限会社朝日屋、株式会社安保商店、アンデックス株式会社、今岡製菓株式会社、イワキテック株式会社、因島商工会議所、尾道しまなみ商工会、尾道商工会議所
尾道造船株式会社、尾道冷凍工業株式会社、クニヒロ株式会社、株式会社啓文社、佐藤汽船株式会社、株式会社田中組、内海造船株式会社、株式会社ナカタ・マックコーポレーション
平山郁夫美術館、広島県教科用図書販売株式会社、株式会社福井亀之助商店、福利物産株式会社、丸善製菓株式会社、万田発酵株式会社、山丸汽船株式会社

後援: 広島県、愛媛県、今治市、今治市教育委員会、尾道商工会議所、尾道しまなみ商工会、因島商工会議所

海と緑豊かな街、尾道の美風景に包まれて、オーケストラの美しい音色が響き渡る。

広響しまなみコンサート



©Yoshinori Kurosawa

指揮 川瀬 賢太郎

Kentaro Kawase, Conductor

1984年東京生まれ。私立八王子高等学校芸術コースを経て、2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻(指揮)を卒業。これまでに、ピアノ及びスコアリーダーを島田玲子、指揮を広上淳一、汐澤安彦、チョン・ミョンフン、アーリル・レンメライトの各氏に師事。2006年10月に行われた東京国際音楽コンクール<指揮>において1位なしの2位(最高位)に入賞。各地のオーケストラから次々に招きを受けている。2012年1月には、細川俊夫作曲 平田オリザ演出、オペラ「班女」広島公演で指揮し、オペラデビュー。その後細川俊夫作曲モノドラマ「大鴉」、オペラ「リアの物語」を指揮、喝采を浴びる。海外においても2008年と2011年2月にイル・ド・フランス国立オーケストラと共演、また、2012年10月にはユナイテッド・インストゥルメンツ・オヴ・ルシリンと細川俊夫作曲モノドラマ「大鴉」オランダ初演を成功させた。2015年9月にはひろしまオペラルネッサンス公演にてモーツァルト作曲オペラ「フィガロの結婚」を指揮、躍動感あふれる演奏を届けた。2007年～2009年パンフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)アシスタント・コンダクター。現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団指揮者、神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者、八王子ユース弦楽アンサンブル音楽監督、三重県いなべ市親善大使。2015年「渡邊曉雄音楽基金」音楽賞、第64回神奈川文化賞未来賞を受賞。2016年第14回 齋藤秀雄メモリアル基金賞、第26回「出光音楽賞」を受賞。



©Shigeto Imura

ヴァイオリン 安部 恵麻

Ema Ambo, Viola

4歳よりヴァイオリンを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校に入学と同時にヴァイオリンに転向。2001年、東京藝術大学音楽学部を卒業。卒業時に同声会賞を受賞。在学中にモーニングコンサートにて芸大オーケストラとウォルトンのコンチェルトを故・佐藤功太郎氏指揮で共演。'97年、東京文化会館新進音楽家デビューコンサートに出演。'99年、PMFに合格。PMFでは、首席奏者も務める。その他、宮崎国際音楽祭、アフィニス夏の音楽祭、オホーツク音楽祭in紋別、イタリア・チェルボ国際音楽祭などの音楽祭にも参加。NHKハイビジョン音楽館などのテレビ、ラジオ番組にも多数出演。その他、スタジオミュージシャンとしても、多数の楽曲に携わっている。また'09年8月2日、マツダスタジアムで始球式を務めた。'01年～'05年3月まで東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師を勤める。'05年4月に広島交響楽団首席ヴァイオリン奏者に就任し、現在に至る。'07年、'09年、'13年には、同団定期演奏会にて音楽監督の秋山和慶氏との共演でソリストも務めている。これまで、ヴァイオリンを故・鷺見康郎、津田順子の各氏に、ヴァイオリンを菅沼準二、川崎和憲、小野富士、市坪俊彦、ジャン・シュレムの各氏に、室内楽を北本秀樹、岡山潔、菊田雅治、田中千香士、小林道夫、生沼晴嗣の各氏に師事。



ピアノ 伊藤 憲孝

Noritaka Ito, Piano

1978年生まれ。オランダ・アムステルダム、ドイツ・ベルリンで研鑽を積み、イタリアで行なわれた第18回「チタ・ディ・ヴァレンチノ」国際コンクールで第1位を受賞。日本国内主要都市をはじめ、アメリカ合衆国、ドイツ、オランダ、オーストリア、スロヴァキア、イタリア、セルビア、マレーシア、韓国など世界各国で演奏を行なっている。その演奏は、The New York Times (アメリカ合衆国)をはじめ、Die Neue Zeitschrift für Musik (ドイツ)、Rundfunk Berlin-Brandenburg (ドイツ)などで取り上げられている。スロヴァキア国立歌劇場管弦楽団をはじめ国内外のオーケストラとの共演。室内楽奏者として、NHK交響楽団、サイトウ・キネン・オーケストラ、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、ブレーメン・フィルハーモニー管弦楽団、香港シンフォニエッタ、マレーシア国立交響楽団各奏者との共演など、活発に活動を行なっている。録音は、国内でディスク・クラシカよりCD (Beethoven, Activated)と〈ベートーヴェン/リスト: 交響曲第7番他〉をリリース。ヨーロッパにおいては、ベルリンのKreuzberg Recordより世界初録音の4曲を収録した Trio kuのCDアルバムがリリースされている。また、iNos Recordsよりインターネット配信限定となる〈ムソルグスキー: 展覧会の絵〉、〈ブラームス: ピアノ・ソナタ第3番〉がiTunes、AmazonMP3などを通して世界111ヶ国の国と地域にリリースされている。現在、福山平成大学准教授、エリザベト音楽大学大学院非常勤講師をつとめると同時に、マレーシアのSEGi College universityでのマスタークラス、トーキョーワンダーサイトでのワークショップなど、各地で後進の指導を行っている。

広島交響楽団

Hiroshima Symphony Orchestra



国際平和文化都市「広島」を本拠地とする、中国地方唯一の常設プロオーケストラ広響は、1998年に日本を代表する指揮者である秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任し、2004年から音楽監督・常任指揮者を務めている。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。2015年8月、被爆70年として広島とサントリーホール(広響初)で行われた「平和の夕べ」コンサートでマルタ・アルゲリッチと協演し、大成功をおさめた。

これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>